

活かすDBを使用して分析が簡単にできます。



活かすDBでは、2020年農林業センサスの農業集落を単位として、地域農業に関する様々なデータを提供しています。



農林業センサス ・ 2005年、2010年、2015年、2020年

他の統計調査 ・ 国勢調査、経済センサスなど

行政情報データ ・ 中山間地域等直接支払交付金など

まずは、活かすDBからデータをダウンロードします。

どなたでも利用が可能

【農林水産省ホームページ】
統計情報>地域の農業を見て・知って・活かすDB～農林業センサスを中心とした総合データベース～
https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/index.html

地域の農業を見て・知って・活かすDB

表計算ソフトで、分析用データに加工します。

※表計算ソフトは、Microsoft Excelを利用しています。

利用者が自由に加工

簡単!

データを基に、グラフ、地図を作成します。
(使いたいデータに絞り込んで作成)

地図作成には、お手持ちのGISソフトの他フリーのGISソフト(QGISなど)を利用します。

※詳しい作業の方法は、「データ利用の手引」を参照してください。

http://www.machimura.maff.go.jp/shurakudata/doc/tebiki_2020.pdf

こんなことに活かされています。

資料1-5

【活用事例】

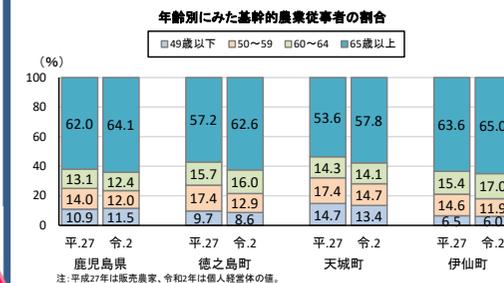
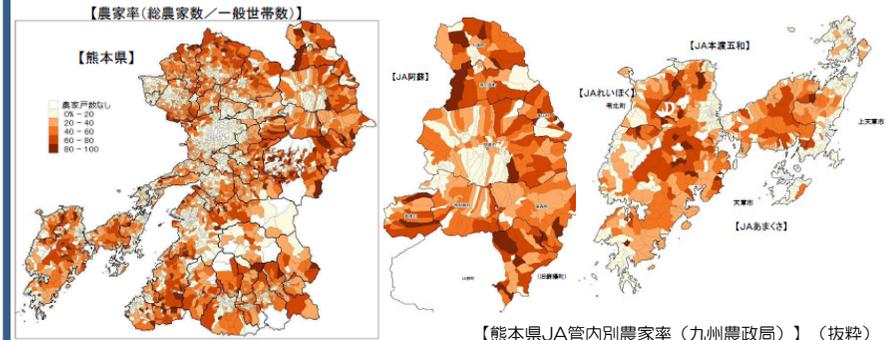
作成したグラフや地図を利用して、様々なシーンで地域農業の現状をわかりやすく見ることができます。



- JA等の総会で管内の農業の現状をわかりやすく伝えたい。
・ JA管内の集落別データや支所単位に再編したデータで資料を作成
- 地域に産地直売所を開設するため、農業者向け説明資料を作成したい。
・ 集落で作付けされている農作物の分布や周辺集落の非農家世帯の数等の経営計画に必要なデータで分析を実施
- 先進的取組を行っている地域と比較したい。
・ 先進的取組を行っている地域と自らの地域の農業構造を経年比較し、自らの地域にあった取組を検討



グラフ、地図で見る！ 地域農業の姿



農業集落別5年以内に後継者を確保している経営体数割合(令2)

